

科目名	シューズ実習 I-A	整理番号	
学科	ファッションクラフトデザイン学科	期	通年
コース	ファッションクラフトデザインコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 10 % 実習 90 %
時間数	180	作成者	中村 信

【科目の到達目標】

パターン・裁断・縫製・底付け等、製靴の技術及び靴・皮革についての知識の基礎を身につける。

【科目の概要】

独特な製靴技術について、見本や実演を中心に、書籍・プリントを参考にして、実習を進める。

【授業計画】

90分/コマ		前期
1～2	DVD『靴が出来るまで』まで	31～34 外羽根 裁断
3～4	練習・内羽根パターン①	35～38 外羽根 縫製
5～6	裁断 スキ	39～42 外羽根 縫製
7～8	内羽根 パターン①	43～46 外羽根 釣り込み
9～10	内羽根 パターン②	47～50 外羽根 底付け ヒール 仕上げ
11～12	内羽根 縫製	51～54 ロングブーツ…原型パターン
13～14	内羽根 縫製	55～58 ロングブーツ…オリジナルデザイン
15～16	内羽根 縫製	59～62 ロングブーツ…ライニングパターン
17～18	内羽根 釣り込み	63～66 ロングブーツ…裁断・漉き
19～20	内羽根 仕上げ	67～70 ロングブーツ…製甲ライニング
21～22	内羽根 仕上げ	71～74 ロングブーツ…製甲まとめ
23～24	内羽根 仕上げ	75～78 ロングブーツ…つりこみ
25～26	外羽根パターン①	79～82 ロングブーツ…つりこみ・グラインダー
27～28	外羽根パターン②	83～86 ロングブーツ…底付け・ヒール付け
29～30	テスト	87～90 ロングブーツ…仕上げ・原価計算・仕様書

【成績評価方法】

提出課題 の評価 60 % 期末試験 30 % 授業態度 10 %

【教科書・参考書】

『新靴の商品知識』エフワークス(株)  
その他プリントを配布

【教材・教具】

筆記用具 製靴道具一式(ワニ、ハンマー2種、メジャー、市切り、竹バケ、クリップ、木型等)  
マシン、グラインダー、圧着機器

科目名	シューズ実習 I-B	整理番号	
学科	ファッションクラフトデザイン学科	期	後期
コース	ファッションクラフトデザインコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 10 % 実習 90 %
時間数	60	作成者	横内 雅美

**【科目の到達目標】**

デザインからパターン製作、裁断、アッパー製作、縫製テクニック、底付け、仕上げなど、靴製作に必要な基本知識を身につけること。

**【科目の概要】**

アパレル分野の中でもシューズの製作技術は特殊である。この授業では、靴製作の基本的な技術と製靴機器の使い方を学ぶ。

**【授業計画】**

90分/コマ

後期

- |       |                           |
|-------|---------------------------|
| 1~2   | プレーンパンプス…デザイン             |
| 3~4   | プレーンパンプス…デザイン<br>漉きミシンの扱い |
| 5~6   | プレーンパンプス…パターン             |
| 7~8   | プレーンパンプス…パターン             |
| 9~10  | プレーンパンプス…裁断               |
| 11~12 | プレーンパンプス…漉き               |
| 13~14 | プレーンパンプス…製甲ミシン<br>ミシン練習   |
| 15~16 | プレーンパンプス…製甲まとめ            |
| 17~18 | プレーンパンプス…つりこみ             |
| 19~20 | プレーンパンプス…底付け              |
| 21~22 | サンダル…裁断・漉き・製甲             |
| 23~24 | サンダル…中底加工・つりこみ            |
| 25~26 | サンダル…グラインダー・ヒール・底付け       |
| 27~28 | サンダル…仕上げ・原価計算・仕様書         |
| 29~30 | 修了テスト                     |

**【成績評価方法】**

課題作品（デザイン・構成・テクニック・色彩感覚・全体の完成度）  
課題作品の評価60%、修業テスト・小テスト30%、平常点10%  
以上を指導要項の認定要項に基づいて総合的に評価する

**【教科書・参考書】**

『新 靴の商品知識』 エフワークス(株) 『スタイリングブック』  
配布プリント

**【教材・教具】**

製靴工具一式（ワニ、ハンマー2種、メジャー、市切り、竹バケ、クリップ、木型等）  
ミシン、グラインダー、圧着機等の製靴機器

科目名	バッグ実習 I -A	整理番号	
学科	ファッションクラフトデザイン学科	期	通年
コース	ファッションクラフトデザインコース		昼間
学年	1年		講義 20% 実習 80%
時間数	120	作成者	片山知佳

【科目の到達目標】

バッグ制作の技術を習得、また皮革による雑貨制作を通し、幅広く素材の知識を深め、様々なバッグデザインに対応できる基礎的能力を身につける。

【科目の概要】

基礎的なトートバッグから学び、基礎と応用を繰り返すことで専門的なバッグの技術を習得する。市場のトレンド分析、販売用作品制作、仕様書作成についても学び、バッグの流通に関して全体的な学びを修得する。

【授業計画】

90分1コマ		前期	後期
1・2	オリエンテーション		31・32 上安祭商品製作
3・4	↓ 道具入れ制作 型紙 裁断・漉き		33・34 上安祭商品製作
5・6	↓ 縫製		35・36 横マチバッグ 型紙
7・8	↓ 仕上げ		37・38 型紙
9・10	バッグ3パターン演習①		39・40 裁断・漉き
11・12	バッグ3パターン演習②		41・42 縫製
13・14	校外授業(バッグ材料屋巡り)		43・44 ↓ 縫製・仕上げ
15・16	落とし込みバッグ・型紙		45・46 HEP FIVE 商品製作
17・18	↓ 裁断・漉き		47・48 デザイン画作成
19・20	↓ 縫製		49・50 サンプル作成
21・22	↓ 縫製		49・50 製作 サンプルチェック
23・24	↓ 仕上げ		51・52 製作
25・26	上安祭商品製作		53・54 製作
27・28	上安祭商品製作		55・56 製作
29・30	テスト		57・58 製作・プレゼンテーション
			59・60 ↓ テスト

【成績評価方法】

提出物の評価60% 期末テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

【教材・教具】

縫製用具一式、製図用具一式、指定のはさみ、ピンセット、ライター、刷毛

科目名	バッグ実習 I -B	整理番号	
学科	ファッションクラフトデザイン学科	期	通年
コース	ファッションクラフトデザインコース		昼間
学年	1年		講義 20% 実習 80%
時間数	120	作成者	片山知佳

【科目の到達目標】

バッグ制作の技術を修得、また皮革による雑貨制作を通し、幅広く素材の知識を深め、様々なバッグデザインに対応できる基礎的能力を身につける。

【科目の概要】

包丁、ミシン、漉き機等の道具、機械類の使い方、バッグの基本的な構造と型紙の作成、縫製の方法を習得する。基本的なバッグの制作方法を理解し、習得する。

【授業計画】

90分1コマ	前期		後期
1・2	オリエンテーション 包丁講習・ミシン、道具説明	31・32	基礎課題4(外縫いフランスマチ) 型紙
3・4	基礎課題1(縫い返しポーチ) 型紙の作り方	33・34	裁断・漉き
5・6	裁断・漉き	35・36	ショルダーベルト製作
7・8	縫製・組立	37・38	裏地・ポケット製作
9・10	縫製・組立	39・40	縫製・組立
11・12	縫製・組立	41・42	縫製・組立
13・14	基礎課題2(通しマチポストン) 型紙の作り方	43・44	縫製・仕上げ
15・16	裁断・漉き	45・46	基礎課題6(ケリーバッグ) 型紙
17・18	丸手製作	47・48	裁断・漉き
19・20	裏地・ポケット製作	49・50	ハンドル製作
21・22	縫製・組立	51・52	裏地・ポケット製作
23・24	縫製・組立	53・54	縫製・組立
25・26	縫製・仕上げ	55・56	縫製・組立
27・28	総復習 ポケットの種類・持ち手の種類	57・58	縫製・仕上げ
29・30	テスト	59・60	テスト

【成績評価方法】

課題作品60%、修了テスト30%、平常点20%

【教科書・参考書】

【教材・教具】

縫製用具一式、製図用具一式、指定のはさみ、ピンセット、ライター、刷毛

科目名	染色 I	整理番号	
学科	ファッションクラフトデザイン学科	期	前期
コース	ファッションクラフトデザインコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 10 % 実習 90 %
時間数	28	作成者	長田 綾美

**【科目の到達目標】**

染色技法基礎の修得。デザインの感性を高め作業を計画的に進めて行く能力を養う。  
染料と繊維の関係を学ぶ。  
色彩感覚を養い染色のおもしろさを知る。

**【科目の概要】**

アナログ的な手作りを基本とした制作実習。シルクスクリーン、絞り染めなどの技法を使ってトートバッグ、生地素材などを染めながら染色技法を修得していきます。

**【授業計画】90分/コマ**

- 1・2 絞り染め。浸染め。 参考プリントから色々な技法を修得。
- 3・4 絞り染め。浸染め。 参考プリントから色々な技法を修得。
- 5・6 板締め。板の挟み方によって異なるデザインの違いや表情のおもしろさを学習する。
- 7・8 板締め。板の挟み方によって異なるデザインの違いや表情のおもしろさを学習する。
- 9・10 シルクスクリーン。 幾何学模様によるデザイン原稿を制作する。
- 11・12 シルクスクリーン。 幾何学模様によるデザイン原稿の製版を行う。
- 13・14 シルクスクリーン。 トートバッグやTシャツにオリジナルデザインをプリントする。

**【成績評価方法】**

提出課題の評価 60%      期末試験 60%      授業態度 10%

**【教科書・参考書】**

『染色の基礎知識』      染織と生活社発行

**【教材・教具】**

各種染料。 刷毛、筆、伸子、張り木、ステンレスタンク、蒸し器等の染色用具。  
ガスコンロ、水洗場等の設備。      シルクスクリーン感光器  
ガスコンロ、水洗場等の設備。      シルクスクリーン感光器

科目名	北欧刺繍	整理番号	
学科	ファッションクラフトデザイン学科	期	前期
コース	ファッションクラフトデザインコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 20% 実習 80%
時間数	28	作成者	廣岡均子

**【科目の到達目標】**

手仕事の重要性を理解し、手芸の出来る人材を目指す。

刺繍、手芸の基礎技術習得

**【科目の概要】**

機械の発達により、縫製技術は発展しているが、機械には成り代われない、手仕事の大切さ、個人の感性、物を作る楽しさを手芸を通して学ぶ。

基礎ステッチ(ドロンワーク、ミラーワーク、ハーダンガ刺繍、クロスステッチ、テープ刺繍)

**【授業計画】** 90分/コマ

- 1・2 布、糸、はさみ(布30cm×30cm)  
基礎ステッチの説明  
(ドロンワークフリンジの刺し方)
- 3・4 ミラーワーク、糸、針、歴史の説明  
ミラーワーク、刺し始め
- 5・6 テープ刺繍説明  
テープのはり方  
テープの利用、作品の説明  
フリーステッチの説明  
(刺繍糸の使い方)
- 7・8 作品の糸始末
- 9・10 ハーダンガ刺繍「歴史民族衣装」  
インテリア(テーブルセンターなど)  
作品の説明
- 11・12 クロスステッチ説明  
図案の仕上がり  
寸法の計算方法  
参考作品の本を見せて説明
- 13・14 全体のまとめ  
期末試験 まとめ

**【成績評価方法】**

提出課題の評価60% 期末試験30% 授業態度10%

各技法の習得力

色彩感覚

**【教科書・参考書】**

『RAKAM』(伊)2015年、『NEW STITCHES』(英)出版社クリエイティブ・クラフツ・パブリッシング・リミテッド  
基礎プリント配布、『刺しゅう』雄鶏社 平成6年度、北欧雑誌、私物の本毎回持参

**【教材・教具】**

刺繍針、はさみ、ものさし、待針、しつけ糸、刺繍糸

科目名	ベーシック	整理番号	
学科	ファッションクラフトデザイン学科	期	通年
コース	ファッションクラフトデザインコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 20% 実習 80%
時間数	60	作成者	福田 新之助

**【科目の到達目標】**

専攻分野でイメージを実現化するうえでの基礎的な表現技術の習得を目指す。

**【科目の概要】**

・色彩構成の基礎 ・立体構成の基礎 ・描画技術の基礎を学ぶ。

**【授業計画】**

90分/コマ		前期	後期
1	色彩構成① ガイダンス&調色	16	立体構成①ガイダンス&山折り谷折り①
2	色彩構成② 調色と配色①	17	立体構成②山折り谷折り②
3	色彩構成③ 調色と配色②	18	立体構成③六角柱①
4	色彩構成④ 明度による配色①	19	立体構成④六角柱②
5	色彩構成⑤ 明度による配色2	20	立体構成⑤レリーフ①
6	色彩構成⑥ イメージ配色①	21	立体構成⑥レリーフ②
7	色彩構成⑦ イメージ配色②	22	立体構成⑦レリーフ③
8	色彩構成⑧ イメージ配色③	23	コンセプトブック① ガイダンス&インタビュー
9	色彩構成⑨ イメージ配色	24	コンセプトブック② ブランドコンセプト立案
10	デザイン画ヌードボディ①	25	コンセプトブック③ ブック制作
11	絵の具の扱い・グラデーション	26	コンセプトブック④ ブック制作
12	デザイン画ヌードボディ②着彩	27	クロッキー①
13	ボディへの着装	28	クロッキー②
14	デザイン画着彩	29	ヌードクロッキー(後期試験)
15	前期試験	30	コンセプトブック⑤ プレゼンテーション

**【成績評価方法】**

課題60% テスト30% 授業態度10%

**【教科書・参考書】**

『デザインの色彩』中田満雄 北畠耀 細野志尚 監修 財団法人日本色彩研究所 日本色研事業株式会社 2版

**【教材・教具】**

筆記具 鉛筆 絵具セット カッターナイフ 30cm定規 コンパス B4ケント紙 クロッキー帳

**【教材・教具】**

縫製用具一式、製図用具一式 ヤットコ類

科目名	ファッションデザイン論	整理番号	
学科	ファッションクラフトデザイン学科	期	通年
コース	ファッションクラフトデザインコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 35% 実習 65%
時間数	60	作成者	濱屋 但

**【科目の到達目標】**

授業メニューを通して、基礎知識・発想力・表現力・分析力・計画性などを身につける。

**【科目の概要】**

基礎知識を身につけ、新たな情報やトレンド、発想などをプラスして表現する。

**【授業計画】**

90分/コマ		前期	後期
1	授業概要	16	マーケットリサーチ
2	アパレルの基礎知識	17	課題発表
3	アパレルの基礎知識	18	アパレルデザイン
4	靴の基礎知識	19	アパレルデザイン
5	靴の基礎知識	20	ファッション雑貨のデザイン
6	課題発表	21	ファッション雑貨のデザイン
7	外部コンテスト	22	ファッション雑貨のデザイン
8	外部コンテスト	23	課題発表
9	外部コンテスト	24	デザイン発想
10	外部コンテスト	25	デザイン発想
11	帽子の基礎知識	26	デザイン発想
12	アクセサリーの基礎知識	27	デザイン発想
13	ベルトの基礎知識	28	課題発表
14	まとめ	29	まとめ
15	テスト	30	テスト

**【成績評価方法】**

課題 60% (小テスト含む) 試験 30% 出席 10%

**【教科書・参考書】**

スタイリングブック

**【教材・教具】**

筆記用具 着色用具 カラーカード ファッション雑誌 他

科目名	コンピュータ演習 I	整理番号	
学科	ファッションクラフトデザイン学科	期	通年
コース	ファッションクラフトデザインコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 20% 実習 80%
時間数	60	作成者	野田 光晴

**【科目の到達目標】**

ファッション業界においてデザイン、企画書作成に必要なPC操作とソフトウェアを活用できるスキルを習得する。

**【科目の概要】**

Googleクロームを使った各種設定とアプリの操作方法。  
PCを使って企画書や商品デザイン書類等を作成する。

**【授業計画】**

90分/コマ		前期	後期
1	メールアカウント設定と課題提出方法 Googleクラスルーム 自己紹介シート		16 シューズ、バッグ、雑貨アイテムの描画1 (Illustrator Photoshopの応用)
2	グーグルクロームとクラウド Googleアプリの解説		17 シューズ、バッグ、雑貨アイテムの描画2
3	描画基礎1 (Illustrator) ペンツール		18 シューズ、バッグ、雑貨アイテムの描画3
4	描画基礎2 (Illustrator) レイヤーと作画		19 シューズ、バッグ、雑貨アイテムの描画4
5	描画基礎3 (Illustrator) 着色と柄		20 シューズ、バッグ、雑貨アイテムの描画5
6	画像加工基礎1 (Photoshop) 切抜き、着色		21 商品企画書1 (Illustrator Photoshop Excelの応用)
7	画像加工基礎2 (Photoshop) サイズ、解像度		22 商品企画書2
8	画像加工基礎3 (Photoshop) レイヤー、合成		23 商品企画書3
9	コンテスト作品デザイン画1		24 商品企画書4
10	コンテスト作品デザイン画2		25 商品企画書5
11	コンテスト作品デザイン画3		26 ポートフォリオ制作1
12	Word基礎 タイピング 文書作成		27 ポートフォリオ制作2
13	Excel基礎 表計算 関数		28 ポートフォリオ制作3
14	パワーポイント基礎 プレゼンテーションシート作成		29 課題 まとめ
15	まとめ テスト アイテムイラスト描画 画像加工		30 テスト

**【成績評価方法】**

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

**【教科書・参考書】**

参考資料等はPDF、プリントを配布

**【教材・教具】**

筆記用具 USBなどフラッシュメモリ

科目名	英会話 I	整理番号	
学科	ファッションクラフトデザイン学科	期	後期
コース	ファッションクラフトデザインコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 30% 実習 70%
時間数	30	作成者	小川 彩美

**【科目の到達目標】**

二年次末のイタリア技術研修に向けて、現地での授業において、積極的にコミュニケーションを取るために英語を習得する。

**【科目の概要】**

海外の人と臆することなく話せるように、ペアワークを中心に会話練習を行う。

プレゼンテーションを入れ、人前で自分の思っていることを英語で話す練習をする。

**【授業計画】**

90分/コマ	前期	後期
		1 自己紹介 2 文章の作り方(主語+動詞) 3 日常生活でよく使う単語 4 Yes/No で答えられる質問文 5 現在進行形 6 人称代名詞 7 助動詞canの使い方 8 現在形 9 WH疑問文 10 前置詞 11 自分のしたいこと(want to) 12 したい"want to"/ したくない"don't want to" 13 プレゼンテーション 14 前期の総まとめ 15 期末試験

**【成績評価方法】**

課題作品評価60%、期末試験・小テスト30%、平常点10%

**【教科書・参考書】**

**【教材・教具】**

科目名	ファッションクラフトドローイング	整理番号	
学科	ファッションクラフトデザイン学科	期	通年
コース	ファッションクラフトデザインコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 20% 実習 80%
時間数	60	作成者	中川 健

【科目の到達目標】

企画、デザインに必要なイラスト、デザイン画が描画できる力を身に付ける。ファッション業界で仕事をする上で必要な、描画によるビジュアルコミュニケーションを円滑に進めるための能力の開発・習得を目指す。

【科目の概要】

雑貨の基本アイテムである、帽子、バッグ、アクセサリなどの描画法を習得する。自身や他者のプランを描画により視覚化することで、他者(デザイナー・パタンナー・縫製・プレス・上司やクライアント)とのコミュニケーションを図ることができる力を身に付ける事により、プランニングから製品化・販促への工程をスムーズに進める事を可能とする。

【授業計画】

90分/コマ	前期		後期
1	オリエンテーション モチーフ観察の方法論 (右脳を使った観察方法)	16	着彩表現:調色とグラデーションについて
2	描画基礎① 線・平面のプロポーシオン	17	素材表現:マット素材
3	描画基礎② 立体の基礎描写	18	素材表現:光沢素材
4	描画基礎③ 遠近法と立体の組み合わせ描写	19	素材表現:テクスチャー表現
5	アイテムドローイング① シューズとバッグ	20	アイテムデザイン画 生地表現①
6	アイテムドローイング② シューズとバッグ	21	アイテムデザイン画 生地表現②
7	アイテムドローイング③ シューズとバッグ	22	人物クロッキー①:人体パーツ描写
8	ディテール表現①	23	人物クロッキー②
9	ディテール表現②	24	オリジナルデザイン画①
10	デザイン画制作(A5)①	25	オリジナルデザイン画②
11	デザイン画制作(A5)②	26	オリジナルデザイン画③
12	オリジナルデザイン画①	27	オリジナルスタイル画①
13	オリジナルデザイン画②	28	オリジナルスタイル画②
14	オリジナルデザイン画③	29	オリジナルスタイル画③
15	前期試験(筆記・実技)	30	後期試験(実技)

【成績評価方法】

課題評価 60%  
試験 30%  
授業態度 10%

【教科書・参考書】

ファッション雑誌、資料etc  
雑貨製品の実物または製品写真の掲載雑誌など

【教材・教具】

筆記用具(鉛筆、消しゴム)、彩色用具一式、クロッキー帳、色鉛筆、ケント紙、カッター、30cm定規etc  
デザインセット(彩色用具一式) デッサン用鉛筆、カッターナイフ、クロッキーノート、ケント紙等

科目名	ビジネスマナー	整理番号	
学科	ファッションクラフトデザイン学科	期	前期
コース	ファッションクラフトデザインコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 70% 実習 30%
時間数	30	作成者	衣笠節子

**【科目の到達目標】**

- ・ビジネスマナーを習得し、社会人として必要なコミュニケーション能力とサービスマインドについて学習する。
- ・企業が求めている即戦力および人間力を身につけ、就職活動に役立てる。
- ・人と円滑な交流を行い接客業務にも生かすことができる。

**【科目の概要】**

- ・ビジネス社会では、業務についての知識だけでなく礼儀やコミュニケーション能力が求められている。本科目では人前で話す訓練をし、思っていることを相手に伝える言葉の表現力を習得する。
- ・接遇マナーが重視されている中、知識だけでなく実践できるようになる。

**【授業計画】 90分/コマ**

- 1 マナーの重要性 「関係づくりの第一歩」
- 2 社会人としての常識 「マナー度チェック」
- 3 第一印象をアップする 「身だしなみと立ち居振る舞い」
- 4 言葉遣いのマナー 「敬語の種類・対応の基本用語」
- 5 外部の方へのアプローチ 「電話対応とメールのマナー」
- 6 グループワーク 「美点凝視」
- 7 ビジネス実務 「名刺交換のマナー・訪問のマナー」
- 8 ビジネス実務 「応接室でのルール・乗り物のマナー」
- 9 ビジネス実務 「指示の受け方と報告の仕方」
- 10 ビジネス実務 「慶事と弔事のマナー」
- 11 仕事の上で必要とされる表現技術 「プレゼンテーション」
- 12 ビジネス文書のマナー 「社内文書・社外文書」
- 13 就職面接対策 「面接室での流れと定番質問」
- 14 まとめ 「修業テスト」
- 15 コミュニケーションスキル 「会話を広げるアプローチ話法」

**【成績評価方法】**

- ・提出課題・スピーチの評価60%・理解力(修業テスト)30%・授業態度10%
- 以上を指導要項に基づいて総合的に評価する。

**【教科書・参考書】**

田野直美『ビジネスでの常識集』トータルマナー株式会社 最新版

**【教材・教具】**